

羽幌町人口ビジョン策定将来展望調査業務

調査分析結果報告書
(概要版)

平成27年9月 羽幌町

目 次

1. 調査の概要

(1) 目的	1
(2) 意識調査の種類及び概要	1
(3) 配付回収の方法	2
(4) 配付対象者と配付数	2
(5) 配付回収のスケジュール	3
(6) 配付回収結果	3

2. アンケート調査結果

(1) 高校生アンケート調査	4
(2) 一般向けアンケート調査	5
(3) 転入者向けアンケート調査	10
(4) 転出者向けアンケート調査	12
(5) 企業向けアンケート調査	14

1. 調査の概要

(1) 目的

本業務は、羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に係る羽幌町人口ビジョンを策定するに当たり必要となる町民等の意識調査を実施し、その基礎資料を作成することを目的とします。

(2) 意識調査の種類及び概要

意識調査は対象ごとに5種類実施しました。アンケート調査の種類と概要は以下のとおりです。

表 アンケートの種類と概要

番号	調査の種類	設問項目の概要
1	高校生アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校卒業後の進路と希望する職業 ・ 羽幌町内での就職の可能性 ・ 個人属性
2	一般向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚（婚活事業、メリットとデメリットなど） ・ 子育て（子育て経験、子育て支援事業など） ・ 人口減少対策（婚姻率の上昇、出生率の上昇、重点産業分野） ・ 個人属性
3	転入者向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転入理由 ・ 羽幌町の魅力と不満 ・ 居住継続の意向 ・ 個人属性
4	転出者向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転出理由 ・ 羽幌町の魅力と不満 ・ 再転入の可能性 ・ 個人属性
5	企業向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在と理想の従業員の年齢構成 ・ 事業活性化に有効な施策内容 ・ 企業の属性

(3) 配付回収の方法

各アンケート票は、下表の方法で配付回収を行いました。

表 配付回収の方法

番号	調査の種類	配付回収の方法
1	高校生アンケート調査	学校を通じてアンケート票を配付回収
2~5	一般向けアンケート調査 転入者向けアンケート調査 転出者向けアンケート調査 企業向けアンケート調査	郵送によるアンケート票の配付回収

(4) 配付対象者と配付数

各アンケート票の配付対象者と配付数は、以下のとおりです。

表 配付対象者と配付数

番号	調査の種類	「配付対象者」と「配付数」			
1	高校生アンケート調査	北海道羽幌高等学校 : 全校生徒 : 157 件 北海道苫前商業高等学校 : 同上 : 81 件 北海道天売高等学校 : 同上 : 4 件 合計 : 242 件			
2	一般向けアンケート調査	年齢階級	男性	女性	合計
		20~29 歳	198 件	196 件	394 件
		30~39 歳	198 件	200 件	398 件
		40~49 歳	72 件	72 件	144 件
		50~59 歳	66 件	66 件	132 件
		60 歳~	66 件	66 件	132 件
		合計	600 件	600 件	1,200 件
結婚、出産、子育てに関係の深い年齢階級であるため「20~29 歳」と「30~39 歳」の配付数を多く設定					
3	転入者向けアンケート調査	平成 26 年 3 月から 4 月に転入した 20 歳以上の方 : 82 件			
4	転出者向けアンケート調査	平成 26 年 3 月から 4 月に転出した 20 歳以上の方 : 129 件			
5	企業向けアンケート調査	羽幌町内 200 社を対象に配付 (200 件)			

(5) 配付回収のスケジュール

アンケート票の配付及び回収のスケジュールは以下のとおりです。

表 配付回収のスケジュール

番号	調査の種類	配付日	回収期日
1	高校生アンケート調査	平成27年5月18日(月)	平成27年5月22日(金)
2~5	一般向けアンケート調査 転入者向けアンケート調査 転出者向けアンケート調査 企業向けアンケート調査	平成27年5月26日(火)	平成27年6月8日(月)

(6) 配付回収結果

各アンケート調査の配付回収結果は、以下のとおりです。

表 配付回収数及び回収率

番号	調査の種類	配付数	回収数(回収率)
1	高校生アンケート調査	242件	225件 (93.0%)
2	一般向けアンケート調査	1,200件	346件 (28.8%)
3	転入者向けアンケート調査	82件	42件 (51.2%)
4	転出者向けアンケート調査	129件	38件 (29.5%)
5	企業向けアンケート調査	200件	73件 (36.5%)

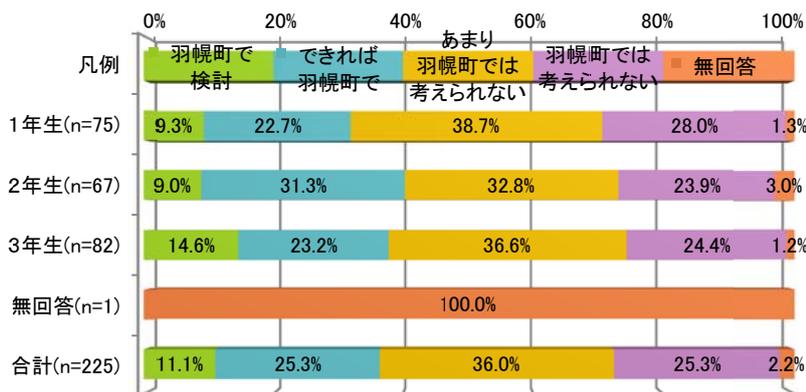
2. アンケート調査結果

以下に(1) 高校生アンケート調査、(2) 一般向けアンケート調査、(3) 転入者向けアンケート調査、(4) 転出者向けアンケート調査及び(5) 企業向けアンケート調査の結果をそれぞれ整理します。

(1) 高校生アンケート調査

羽幌町での就職の意向

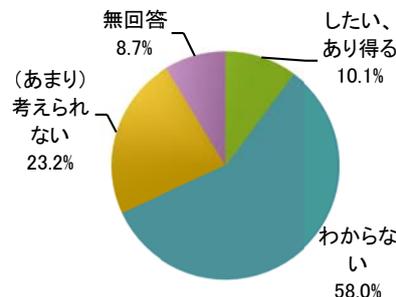
羽幌町での就職に関しては、希望業種であっても「あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない」が36.0%と最も多く、続いて「できれば羽幌町での就職を検討したい」と「羽幌町での就職検討は考えられない」がそれぞれ25.3%となっています。



羽幌町での就職を検討したい理由	羽幌での就職を検討してみたいと思わない理由
羽幌が好きだから	都会に出て働きたい
家族がいるから	様々な人と関わった仕事がしたい
安心して働けるから 等	親から自立したい
	羽幌町内には働く場所がない 等

羽幌町以外で就職し、その後羽幌町で就職（Uターン）する可能性

羽幌町以外での就職を希望する回答者のUターンの可能性については、「わからない」が58.0%、「あまり考えられない、全く考えられない」が23.2%となっているのに対し、「いずれは出身地で就職したい、または、就職することもあり得る」が10.1%となっています。



羽幌町の人口減少や、人口増加に関する意見等

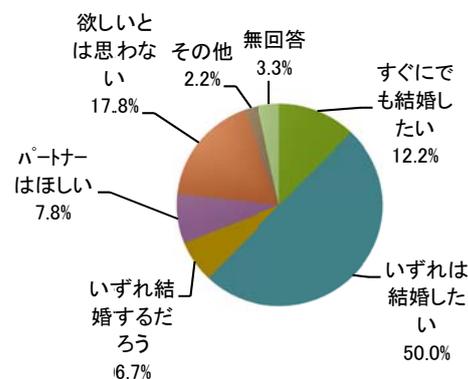
主要な意見としては、「仕事や職場を増やす」、「商業施設や娯楽施設を誘致する」があげられます。

(2) 一般向けアンケート調査

結婚の意向

回答者の約3割を占める未婚者の結婚の意向は、「いずれは結婚したい」が50.0%と最も多く、続いて「できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいとは思わない」が17.8%となっています。

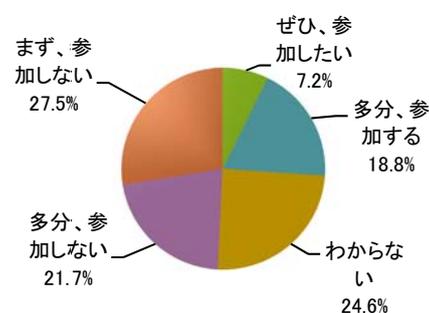
今後結婚をする意向がある回答者を合計すると、未婚者の約7割を占めています。



婚活事業参加の意向

結婚したい方とパートナーが欲しい方の婚活事業への参加意向については、「まず、参加しない」が27.5%と最も多く、続いて「わからない」が24.6%となっています。

「ぜひ、参加したい」と「多分、参加する」の合計が26.0%に対し、「多分、参加しない」と「まず、参加しない」の合計が49.2%となっており、参加しない意向の回答者が多い状況です。



家事等の分担の理想と実際

家事等の役割分担についての理想と実際（現実）を比較すると以下の結果となります。

家事

理想が「女性中心」と「女性のみ」の合計で62.4%に対し、実際は88.7%と26.3ポイント高く、理想と実際に乖離が見られます。最も乖離が見られる世代別は「40歳代、50歳代」で、「女性中心」と「女性のみ」の合計が21.4ポイント高くなっています。

育児

理想が「女性中心」と「女性のみ」の合計で53.4%に対し、実際は70.2%と16.8ポイント高く、理想と実際にやや乖離が見られます。最も乖離が見られる世代別は「20歳代、30歳代」で、「女性中心」と「女性のみ」の合計が19.0ポイント高くなっています。

子どもの教育

子どもの教育は、理想が「男女同程度」で49.9%に対し、実際は「女性中心」と「女性のみ」の合計が46.9%と、理想と実際に乖離が見られます。最も乖離が見られる世代別は「20歳代、30歳代」で、「女性中心」と「女性のみ」の合計が31.0ポイント高くなっています。

親の介護

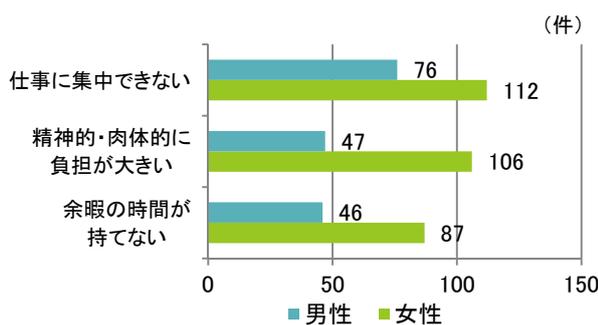
親の介護は、理想が「男女同程度」で45.8%に対し、実際は「性別に無関係」が35.1%となっており、大きな乖離は見られない状況です。



妊娠、出産、子育てに関する不安

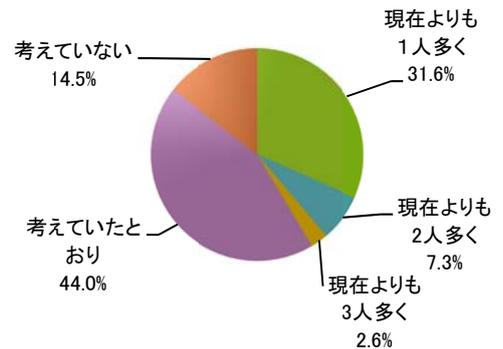
妊娠、出産、子育てに関しては「女性」の方が不安を多く抱えており、「仕事に集中できない」が112件、「精神的・肉体的に不安が大きい」が106件、「余暇の時間が持てない」が87件と多くなっています。

また「その他」の内容は、産婦人科などの病院がないという回答が10件ありました。



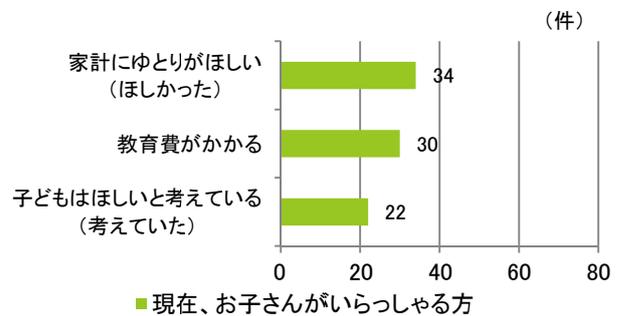
ほしい（ほしかった）お子さんの人数

「現在、お子さんがいらっしゃる方」の希望する子どもの人数は、「現在の子ども数は、考えていたとおりである」が44.0%と最も多く、続いて「現在よりも1人多くほしい（ほしかった）」が31.6%となっています。

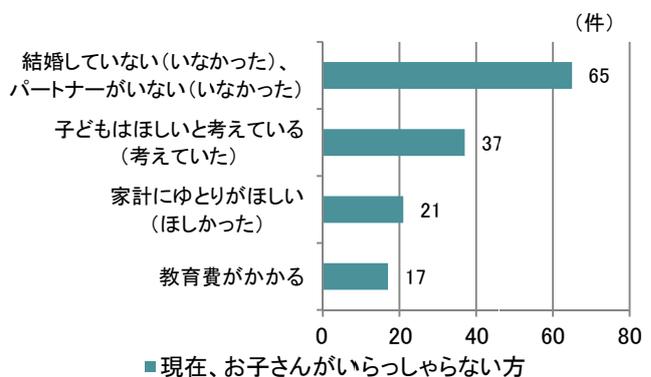


希望していたより、お子さんの数が少ない理由

「現在お子さんがいらっしゃる方」が考えていたよりも子どもの人数が少ない理由は、「家計にゆとりがほしい（ほしかった）」が34件と最も多く、続いて「教育費がかかる」が30件となっています。理想の子ども的人数を実現するためには、家庭の経済事業が大きく左右することがわかります。

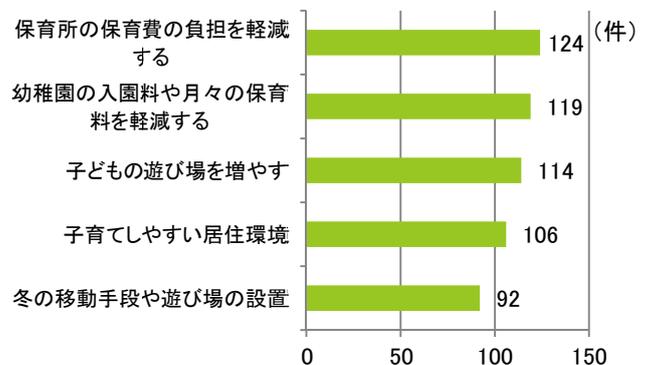


一方、「現在、お子さんがいらっしゃらない方」の理由は、「結婚していない（いなかった）」が65件と最も多く、続いて「子どもはほしいと考えている（考えていた）」が37件となっています。



妊娠や出産、子育てへの支援策

妊娠や出産、子育てのための支援策は、「保育所の保育費の負担を軽減する」が124件と最も多く、続いて「幼稚園の入園料や月々の保育料を軽減する」が119件、「子どもの遊び場を増やす」が114件となっています。

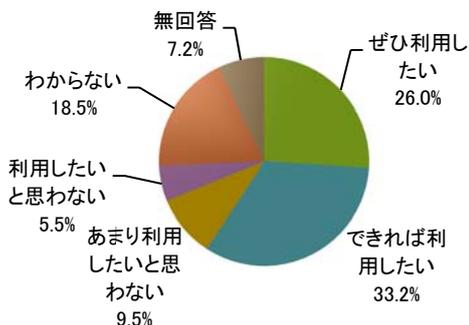


上位2つが経済的な支援、それ以降で子どもの遊び場を代表とする子育て環境となっています。

地域ぐるみでの子育て支援サービス等の利用と参加意向

子育て支援サービスを受ける立場として

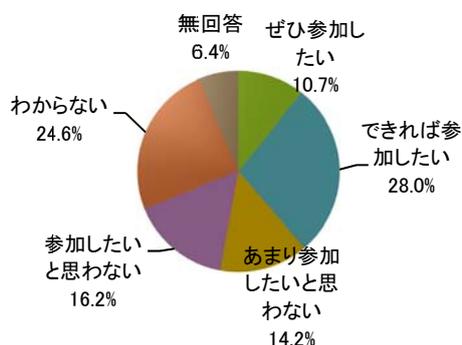
地域による子育て支援の利用については、「できれば利用したい」が33.2%と最も多く、続いて「ぜひ利用したい」が26.0%となっており、合計すると約6割の方が「利用したい」と回答しています。



子育て支援サービスの担い手（提供者）として

地域による子育て支援への参加については、「できれば参加したい」が28.0%と最も多く、続いて「わからない」が24.6%となっています。

サービスの中心となる組織づくりや、「わからない」と考える層を対象とした啓蒙活動など、地域による子育て支援について検討していくことが考えられます。



婚姻率を高めるための方法についての意見

主要な意見として、「収入を安定させる、男性の収入を増加させる、結婚に必要な収入を得る」、「職場を確保する」、「若い世代が雇用を創出する、青年男女が就職できる、共稼ぎできる」、「出会いの場をつくる」、「羽幌町の魅力を高める」、「パーティ・合コンの開催」、「経済的な支援」及び「住宅の確保」があげられます。

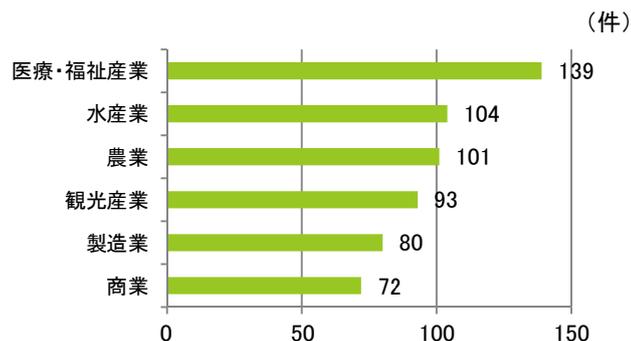
出生率を高めるための方法についての意見

主要な意見として、「お祝い金、補助金、出産手当の制度を設ける」、「羽幌町で出産できる産婦人科の確保」及び「羽幌町で小児科、産婦人科医の常勤化」があげられます。

若者等の就業のため重点的に支援すべき産業分野

若者等の職を確保するための重点産業分野は、「医療・福祉産業」が139件と最も多く、続いて「水産業」が104件、「農業」が101件となっています。

これらの選択肢は、地方創生に関わりの深い日本版 CCRC*の推進や農業、水産業及び観光など基幹産業の振興に関連する産業分野であり、今後、地域振興を見据えた支援が求められています。



日本版 CCRC とは…「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」
日本版 CCRC 構想(素案)(2015.6 日本版CCRC構想有識者会議)より

人口減少対策に効果的と思われる方法についての意見

主要な意見として、「若者、女性などを含めた雇用の確保」、「住宅の確保」があげられます。

回答者の属性

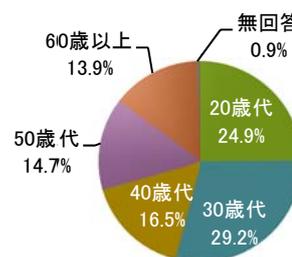
性別

回答者の性別は、「女性」が55.8%、「男性」が41.9%となっています。



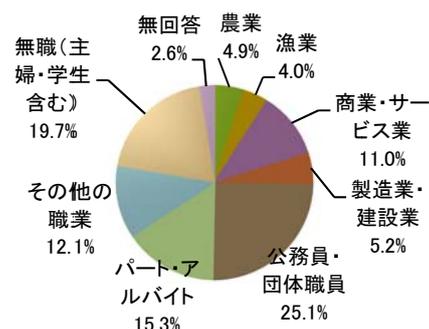
年齢

回答者の年齢構成は、「30歳代」が29.2%と最も多く、続いて「20歳代」が24.9%、「40歳代」が16.5%となっており、20～30歳代の回答者が半数以上を占めています。



職業

回答者の職業は、「公務員・団体職員」が25.1%と最も多く、続いて「無職(主婦・学生含む)」が19.6%、「パート・アルバイト」が15.3%となっています。

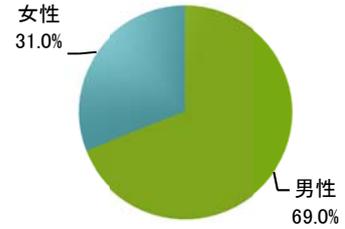


(3) 転入者向けアンケート調査

性別、年齢、職業、出身地

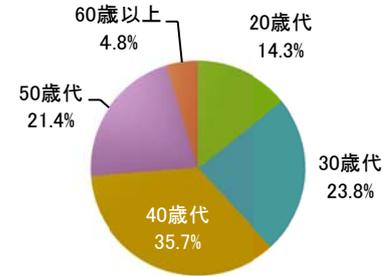
性別

回答者の性別は、「男性」が69.0%、「女性」が31.0%となっています。



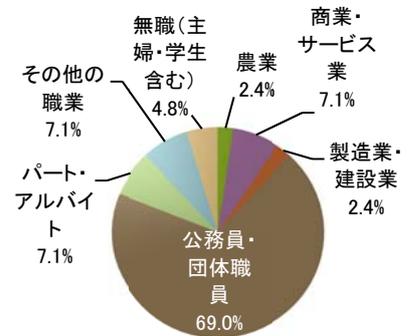
年齢階級

回答者の年齢階級は、「40歳代」が35.7%と最も多く、続いて「30歳代」が23.8%、「50歳代」が21.4%となっています。



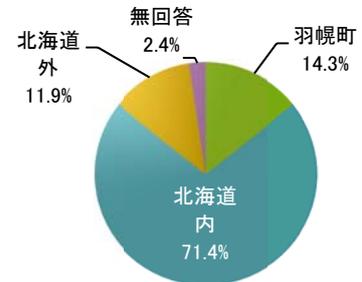
職業

回答者の職業は、「公務員・団体職員」が69.0%と、突出して多い状況となっています。



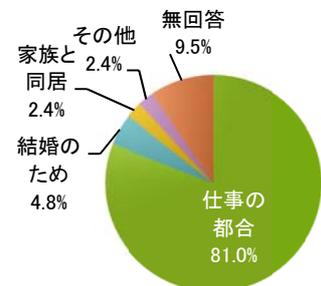
出身地

回答者の出身地は、「北海道内」が71.4%と最も多く、続いて「羽幌町」が14.3%となっています。

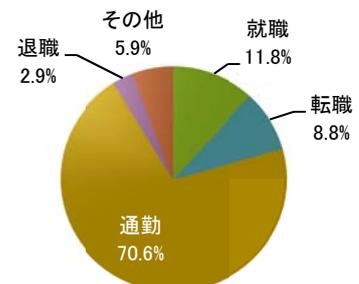


転入のきっかけ

転入の理由は、「仕事の都合」が81.0%と大部分を占め、続いて「結婚のため」が4.8%となっています。



仕事の都合の内容は、「転勤」が70.6%と大部分を占めています。

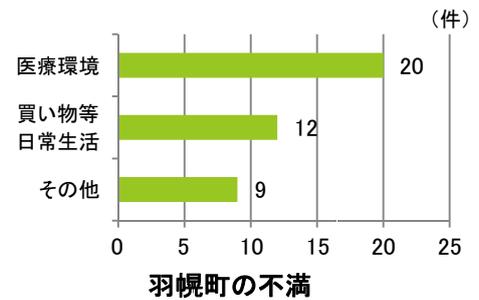
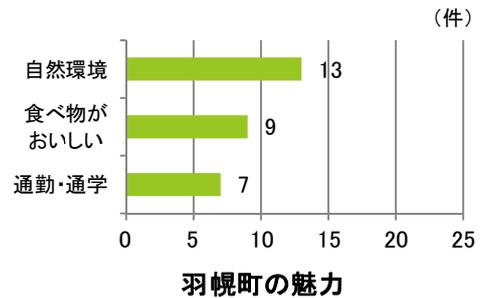


羽幌町の魅力と不満

羽幌町の魅力は、「自然環境」が13件と最も多く、続いて「食べ物がおいしい」が9件、「通勤・通学」と「その他」が7件となっています。

一方、羽幌町に住んでみて感じた不満は、「医療環境」が20件と最も多く、続いて「買物など日常生活」が12件、「その他」が9件となっています。

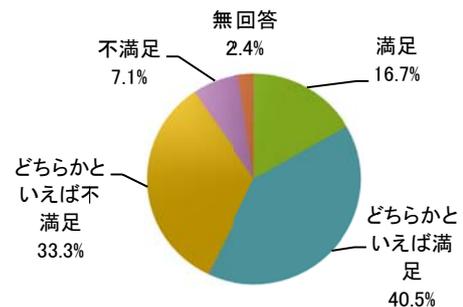
その他の内容としては、魅力が「田舎であること」、「子どもの医療費が中学生まで助成される点」、不満が「娯楽施設が乏しい」、「就職先があまりない」及び「芸術文化的な行事や催しが少ない」などとなっています。



羽幌町に住んで満足しているか

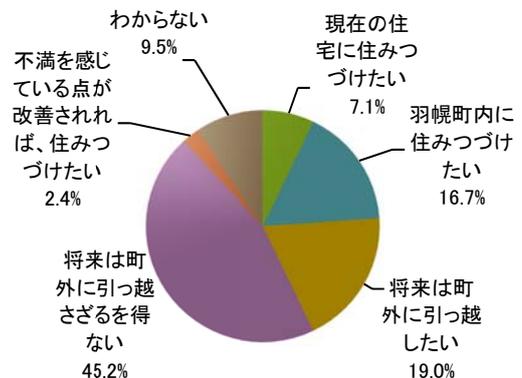
満足度は、「どちらかといえば満足」が40.5%と最も多く、続いて「どちらかといえば不満」が33.3%、「満足」が16.7%となっています。

「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が「不満」と「どちらかといえば不満」の合計を上回っており、羽幌町への居住に満足している方がやや多い状況です。



今後とも羽幌町に住みつづけたいか

居住の継続意向は、「将来は町外に引っ越さざるを得ない」が45.2%と最も多く、続いて「将来は町外に引っ越したい」が19.0%、「転居するかもしれないが、羽幌町内に住みつづけたい」が16.7%となっています。



人口減少対策等についての意見

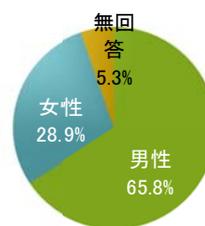
代表的な意見として、「観光地としての施設の充実」、「賃貸アパートなどが欲しい」があげられます。

(4) 転出者向けアンケート調査

性別、年齢、職業、出身地

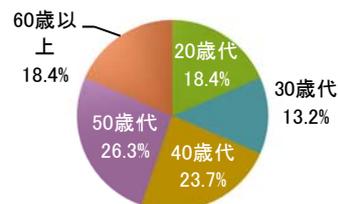
性別

回答者の性別は、「男性」が65.8%、「女性」が28.9%となっています。



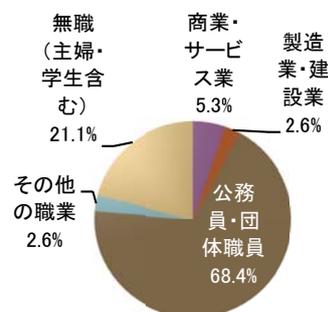
年齢階級

回答者の年齢階級は、「50歳代」が26.3%と最も多く、続いて「40歳代」が23.7%、「20歳代」と「60歳以上」がそれぞれ18.4%となっています。



職業

回答者の職業は、「公務員・団体職員」が68.4%と、突出して多い状況となっています。



出身地

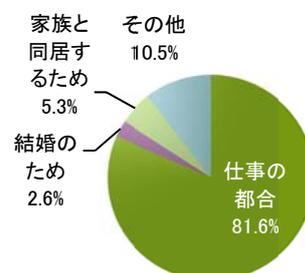
回答者の出身地は、「北海道内」が86.1%と最も多く、続いて「羽幌町」が13.2%となっています。



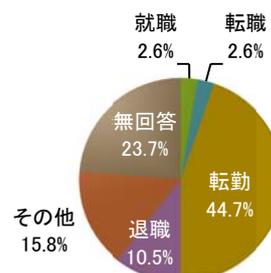
転出したきっかけ

転出の理由は、「仕事の都合」が81.6%と大部分を占め、続いて「その他」が10.5%となっています。

「その他」の内容は、進学、病気及び福祉施設からの退去となっています。



仕事の都合の内容は、「転勤」が44.7%と最も多く、続いて「無回答」が23.7%となっています。

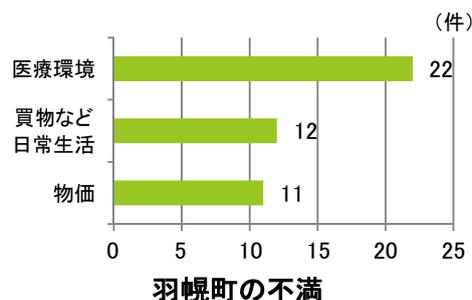
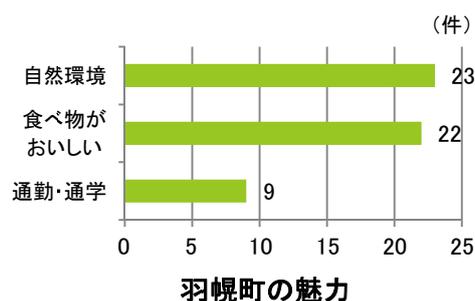


羽幌町の魅力と不満

羽幌町の魅力は、「自然環境」が 23 件と最も多く、続いて「食べ物がおいしい」が 22 件、「通勤・通学」が 9 件となっています。

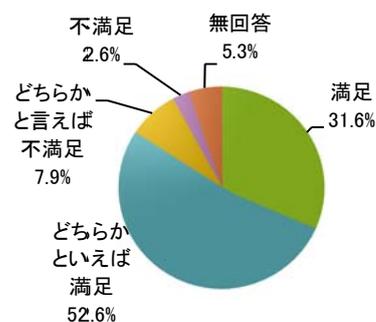
一方、羽幌町に住んでみて感じた不満は、「医療環境」が 22 件と最も多く、続いて「買物など日常生活」が 12 件、「物価が高い」が 11 件となっており、転入者向けアンケートと概ね同様の結果となっています。

その他の内容としては、魅力が「甘えび」、「島」、「炭砒」及び「人」、不満は「宿泊施設」、「水産物の情報発信」、「島に行きづらい環境」、「ゴミの収集」及び「強風」等となっています。



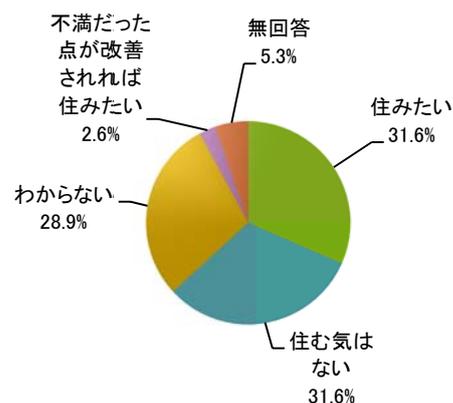
羽幌町に住んで、満足だったか

満足度は、「どちらかといえば満足」が 52.6%と最も多く、続いて「満足」が 31.6%となっています。8割以上の方が「満足」、あるいは「どちらかといえば満足」となっています。



機会があれば、羽幌町にもう一度住みたいか

羽幌町への再転入の意向は、「住みたい」と「住む気はない」がそれぞれ 31.6%となっており、続いて「わからない」が 28.9%となっています。



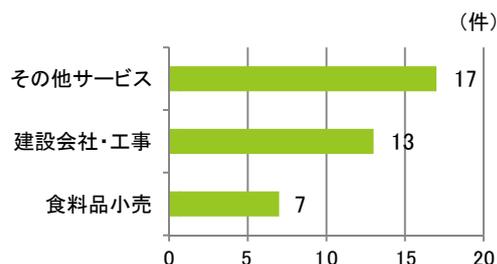
人口減少対策等についての意見

代表的な意見として、「島・甘えび・炭砒跡を観光資源にする」、「就職場所を増やす」及び「医療機関の充実」があげられます。

(5) 企業向けアンケート調査

営んでいる業種

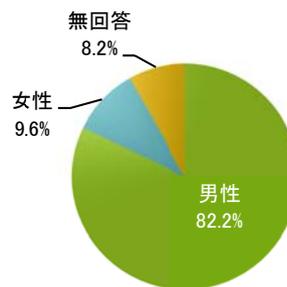
営んでいる業種は、「その他サービス」が17件と最も多く、続いて「建設会社・工事」が13件、「食料品小売」が7件となっています。



経営者の方の性別、年齢

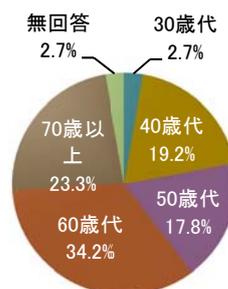
性別

経営者の方の性別は、「男性」が82.2%、「女性」が9.6%となっています。



年齢階級

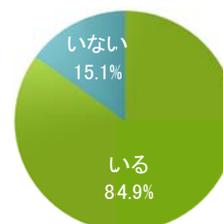
経営者の方の年齢階級は、「60歳代」が34.2%と最も多く、続いて「70歳以上」が23.3%、「40歳代」が19.2%となっています。



従業員数

従業員の有無

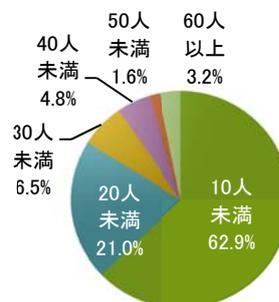
従業員の有無は、「いる」が84.9%、「いない」が15.1%となっています。



従業員数

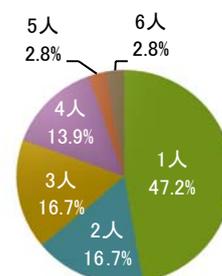
従業員数は、「10人未満」が62.9%と最も多く、続いて「20人未満」が21.0%となっています。

比較的な小規模な事業所が多い状況となっています。



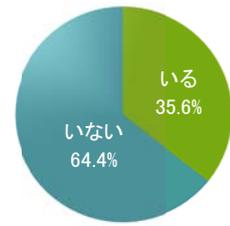
家族従業員数

家族従業員数は、「1人」が47.2%となっています。



町外から通勤している従業員の有無

町外から通勤している従業員の有無は、「いない」が64.4%、「いる」が35.6%となっています。



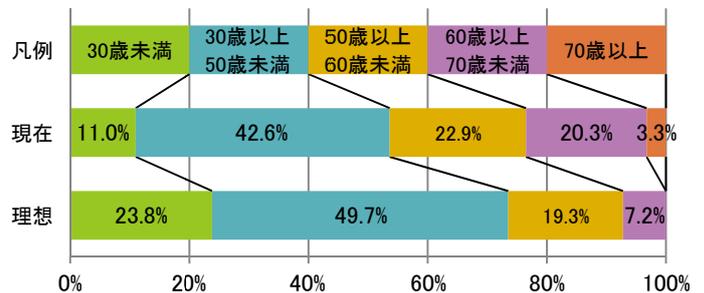
町外から通勤している従業員数

町外から通勤している従業員数は、26事業所で97人となっています。

従業員の年齢構成、理想の年齢構成

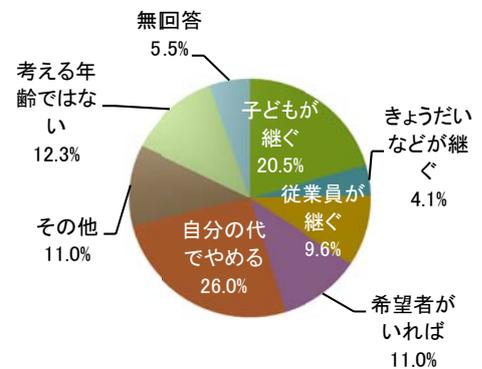
従業員の年齢構成は、「30歳未満」の現在が11.0%に対し理想が23.8%と倍増しており、「70歳以上」の現在が3.3%に対し理想が0%、「60歳以上70歳未満」の現在が20.3%に対し理想が7.2%となっています。

従業員の若返りを理想としている事業所が多い状況です。



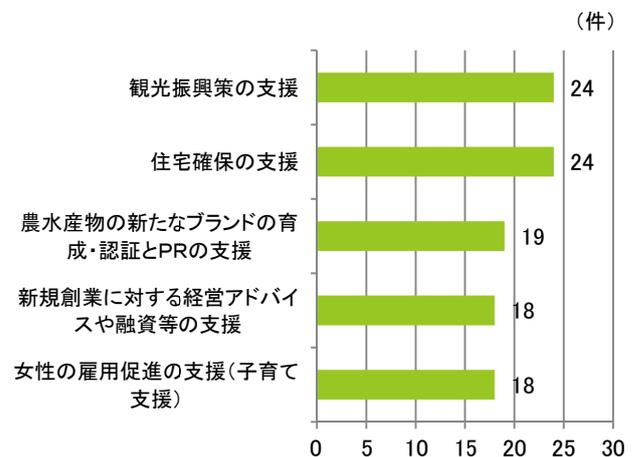
後継者の状況

後継者の状況は、「後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている」が26.0%と最も多く、続いて「子どもが後を継ぐ予定」が20.5%、「後継者の予定が立っていないが、希望者がいれば継承させても良い」が11.0%となっています。



事業活性化等に役立つ施策

企業の事業活性化や新たな事業展開に役立つと考えられる支援内容は、「観光振興策の支援」と「住宅確保の支援」がそれぞれ24件と最も多く、続いて「農水産物の新たなブランドの育成・認証とPR支援」が19件、「新規創業に対する経営アドバイスや融資等の支援」と「女性の雇用促進の支援(子育て支援)」がそれぞれ18件となっています。



若者やU・Iターンによる人材雇用や人口減少対策等についての意見

代表的な意見として、「雇用支援」、「新たな産業としてベントナイト・ゼオライトの事業展開」及び「海産物、農作物、サフォークなどのブランド化、付加価値化」があげられます。

